


THE STATE OF DATA SECURITY

# THE JOURNEY TO

**SECURE**   **AN UNCERTAIN**

# FUTURE



Rubrik Zero Labs





# 目次

- 長い道のりへと踏み出す04
- データについて06
- リスクの把握08
- データの最新の現状12
- データ予測17
- 機密データの変容19
- データセキュリティの評価25
- 提案30
- まとめ38

データソース



RUBRIKテレメトリー



WAKEFIELD RESEARCH



# 本書では、「データ」が キーワードになります。

現在、どれだけのデータがあり、  
今後どれだけのデータが増えていくのか、  
そして、それがデータを管理していく上で  
どのような影響していくのかをご紹介します。



もう一つ、取り上げるのが  
**「楽観主義」**です。

楽観主義がどのような害悪をもたらし、  
そしてまた不確実な未来を進むうえでの助けと  
なるのかをご案内します。

データについて

# 地図の向きを 合わせる

Rubrik Zero Labsは、データセキュリティのリスクを軽減するための、ベンダーに依存しない実用的な情報提供に取り組んでいます。この目的のために、弊社は2つのソースから今回の結果を見つけ出しました。

## Rubrikテレメトリー <sup>RT</sup>

弊社はRubrikが持つデータを使用し、標準的な組織の環境と各組織が直面している脅威の正体に限りなく近づこうと取り組みました。このアプローチは同時に、実際のデータセットから実用的な将来のモデルを生み出すうえでも役立ちました。透明性という点では、以下にこのデータセットの構成要素と、それが弊社の見解にどう影響しているのかを記載しています。Rubrikテレメトリーの具体的な内容は次のとおりです。

**5,000社以上の**

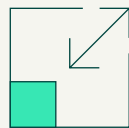
クライアント



3地域にわたる67か国

**22の**

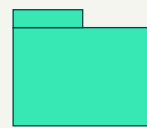
業界



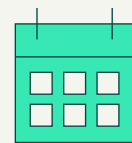
保護対象のデータ総量：  
35 EB以上の論理ストレージ  
817バックエンドペタバイト（BEPB）の  
物理ストレージ

**35 EB以上を保護**

（含まれる機密データレコードの数は240億以上）



240億以上の機密  
データレコード



データの対象は  
2022年1月～2023年7月



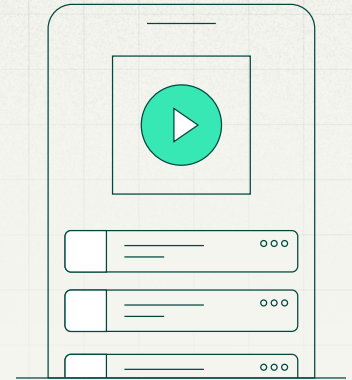
## ご存知ですか？

世界中の大抵の人々は、「データ」と聞くと、論理ストレージ（フロントエンドストレージとも呼ばれます）を思い浮かべます。一方、データビジネスに従事する私たちが扱うのは、主にバックエンドストレージです。

Rubrikは、組織のデータを全体的に捉え、重複排除や圧縮などの複数の異なる技術を駆使し、バックエンドストレージに格納されるフロントエンドデータの量を削減しています。今回の道のりでは、全体を通してバックエンドストレージを前提として進めていきます。

## データの規模感： 35 EBとはどれくらいのデータ量なのか

お気に入りの曲を集めたプレイリストなしの旅とは？ 標準的な高音質楽曲の容量は約4.8 MBです。  
35 EBある  
#2023DataJourneyJamz  
プレイリストには7.3兆曲が含まれ、再生し終わるには4,800万年以上かかります<sup>123</sup>。ありがたいことに、リピート再生はありません。



## Wakefield Research <sup>(WR)</sup>

1,600人以上のITおよびセキュリティチームのグローバルリーダーの見解

**10**  
か国

**49%**  
がCIOまたはCISO

弊社は、Rubrikのテレメトリーを活用し、データセキュリティの状況に関する視野を広めるため、調査の実施をWakefield Researchに委託しました。また、ITチームやセキュリティチームのリーダーを意図的に迎え入れ、リーダーたちの視点と実務現場での見え方との違いを調査しました。

**1,600人以上の**  
ITチームやセキュリティチームのリーダー

**49%**  
がCIOおよびCISO

**16%**  
が統括責任者

**38%**  
がシニアディレクターまたはディレクター



**3つの地域**  
(米国、欧州、アジア太平洋)



**10か国**  
(米国、英国、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、日本、オーストラリア、シンガポール、インド)



**調査対象期間**  
2022年1月1日～2023年7月1日

1 <https://math.ucr.edu/home/baez/timeline.html#:~:text=50%20million%20years%20ago%20%2D%20India,of%20all%20species%20died%20out!>  
2 <https://ucmp.berkeley.edu/tertiary/eocene.php>  
3 <https://www.whistleout.ca/CellPhones/Guides/How-Much-Data-Does-Spotify-Use-Canada>

リスクの把握

# 深く考えず、 窮地に陥る

データをめぐる道のりへ出発する前に、まずは人の意思決定の方法についての簡単な解説です。今後、皆さんが行うことになる選択のための専門的なヒントをご紹介します。





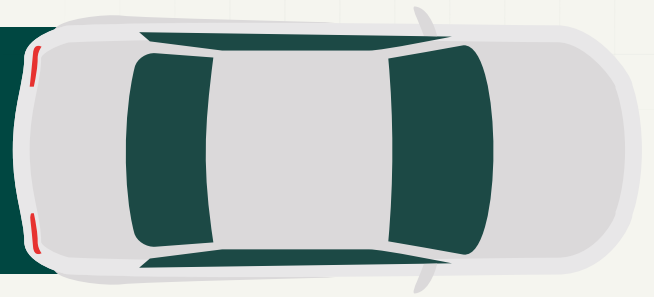
# 人というのは本質的に楽観主義です。

そうである必要があるのです。今日の世界における困難の多さに真剣に向き合わなければならぬとしたら、ほとんどの人がベッドから起き上がれないでしょう。生きていくには楽観主義が不可欠です。

しかし、その楽観主義は重要な現実を見えなくするものでもあります。

心の奥底のどこかで私たちは、車に乗り込むたびリスクを取っているのだと気づいています。実際、保険会社の見積もりでは、平均的なドライバーが車の事故に遭う確率は

## 18年に1度です



にもかかわらず、ほぼすべての人は自分が確率に打ち勝つ能力を過大評価しています。メッセージの入力、電話、食事、おしゃべり、読書、髪のお手入れ…いずれも運転中に行われている動作です。

誰もが、悪いことが起きるかもと分かっています。ただ、自分には今日は起こらないとたかをくくっているのです。

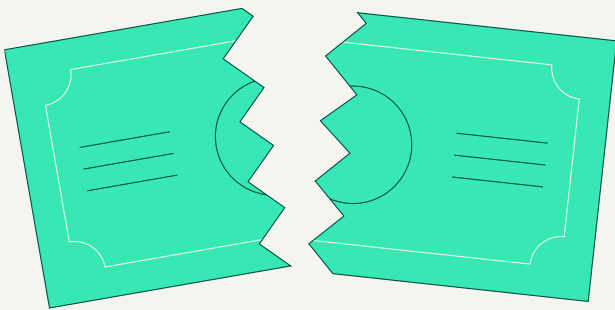
# 2007

私たちの楽観主義は、より大きな集合に目を向ける場合のやり方にも当てはまりません。2007年、世界規模での差し迫った経済危機の兆候は認識可能でした。そして、実際に認識した人もいました。

ヘッジファンドのScion Capitalの創設者、Michael Burry氏は、ニューヨークタイムズ紙の「私は危機の到来に気づいた。連邦準備銀行はなぜ気づかなかったのか<sup>1</sup>」という論説において、2003年に始まった住宅市場崩壊の前兆をどのように捉えたのかを詳しく述べています。

主要な専門家の大半は、そうした重要な兆候に気づかなかったか、あるいは軽視しました。

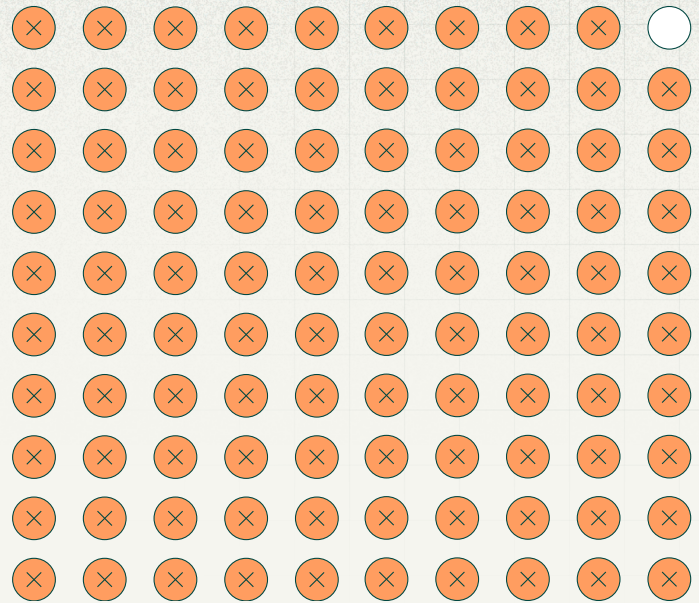
いささか皮肉なことに、組織では、恐怖、不安、疑惑との関連で悪名高いトピックであるサイバーセキュリティに対し、想像以上に楽観主義で臨むことが多々あります。



# 99%

今春のRubrik Zero Labsのレポート<sup>2</sup>によると、IT/セキュリティ担当リーダーの99%が、2022年中に少なくとも1回の攻撃を受け、平均で52回の発生があったと認識しています。このようなリーダーたちはチームの先導役で、多くの場合、同じような攻撃の対処に注力してしまい、そこから復元するためのリソースや準備が不足していることが多い状況です。

組織は、攻撃される可能性を理解しています。しかし、ある程度「うちには今日は起こらない」という楽観主義にしがみついているのです。



## 誰にもおなじみの直感

車に乗り込むたびに、抵当契約にサインするたびに、あるいは35,000回とされる毎日の大小さまざまな意思決定<sup>3</sup>を行うたびに、私たちは計算されたリスクを取っています。

研究者によれば、このリスク評価は次のいずれかのやり方で行われます。**直感と分析です。**

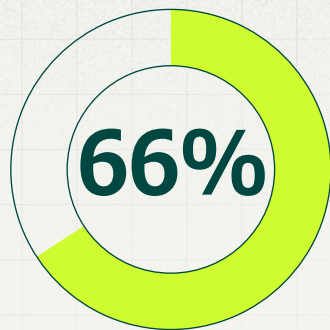
それぞれの思考方法の実用性と正確性について経済学者と心理学者が議論を交わしていますが、一般的には、直感は労力が少なく、すばやい決断に向いており<sup>4</sup>、分析は時間も労力も多めにかかるものの、より複雑な意思決定の助けとなります<sup>5</sup>。

どちらの思考方法でも誤りは発生しますが、直感思考の方が正確性で劣ると考えられています。ただし、ある種の直感思考の正確性は経験によって改善可能です。それが、熟練の緊急対応担当者が発生前に危険を「察知」できる理由です。

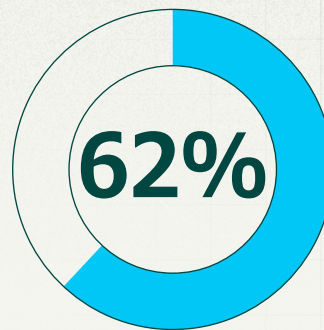
サイバーセキュリティについては、組織が楽観主義（少なくとも行動において）であることは既に知られているところです。



## 直感について詳しく見てみましょう



の組織が自社のデータ総量の成長速度がデータ保護とリスク管理能力をすでに超えていると考えています。⑥



外部組織の半数以上が、社員は策定済みのデータポリシーに違反してデータにアクセスしていると考えています。⑥

会社としての行動実態と、自社のデータセキュリティアプローチに対する社内の専門家の見方との間には、明らかな断絶があります。



これと同じような違いはハードデータにも存在するのでしょうか？ 専門家たちは炭鉱のカナリアなののでしょうか、それとも直感の暴走なののでしょうか？ 詳しく見てみましょう。

1 <https://www.nytimes.com/2010/04/04/opinion/04burry.html?searchResultPosition=3>  
 2 <https://www.rubrik.com/zero-labs#hero>  
 3 <https://edition.cnn.com/2022/04/21/health/decision-fatigue-solutions-wellness/index.html#:~:text=Whether%20you're%20making%20breakfast,put%20your%20finger%20on%20why.>  
 4 <https://thedeclaration.com/reference-guide/neuroscience/automatic-thinking>  
 5 [https://thedeclaration.com/reference-guide/philosophy/system-1-and-system-2-thinking?utm\\_campaign=TDL+Dynamic&utm\\_medium=ppc&utm\\_source=adwords&utm\\_term=&hsa\\_mt=&hsa\\_net=adwords&hsa\\_ad=564666141034&hsa\\_src=g&hsa\\_cam=14567061057&hsa\\_kw=&hsa\\_grp=127713121155&hsa\\_tgt=dsa-19959388920&hsa\\_ver=3&hsa\\_acc=8441935193&gad=1&gclid=Cj0KCQjw2qKmBhCFARIsAFy8buJQVuDOqwkKnaCjB21gPhagxEBoY6z8q6Vxf0\\_thil3lfcDPUDozcaAknUEALw\\_wcB](https://thedeclaration.com/reference-guide/philosophy/system-1-and-system-2-thinking?utm_campaign=TDL+Dynamic&utm_medium=ppc&utm_source=adwords&utm_term=&hsa_mt=&hsa_net=adwords&hsa_ad=564666141034&hsa_src=g&hsa_cam=14567061057&hsa_kw=&hsa_grp=127713121155&hsa_tgt=dsa-19959388920&hsa_ver=3&hsa_acc=8441935193&gad=1&gclid=Cj0KCQjw2qKmBhCFARIsAFy8buJQVuDOqwkKnaCjB21gPhagxEBoY6z8q6Vxf0_thil3lfcDPUDozcaAknUEALw_wcB)

データの最新状況

# 現代の 開拓者たち

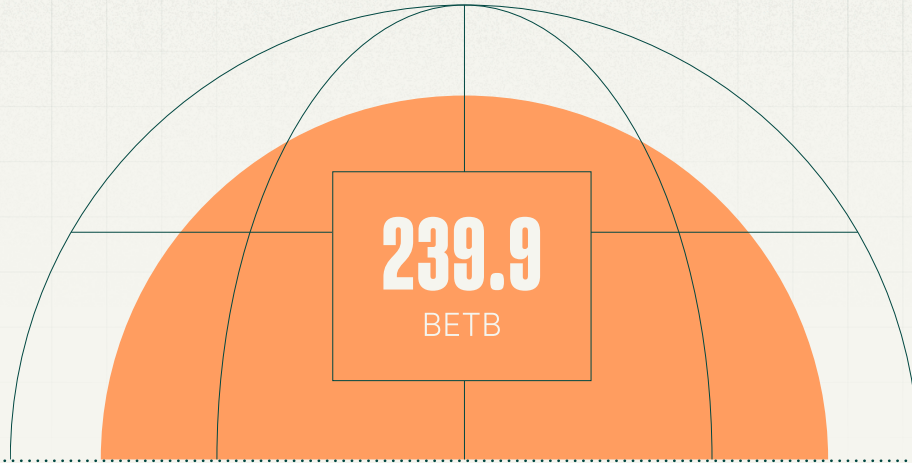
思考を直感から分析へと切り替えましょう。具体的で実のある中身を含むハードデータです。分析なしでは、ただの気分屋です。

## 気分屋：名詞。

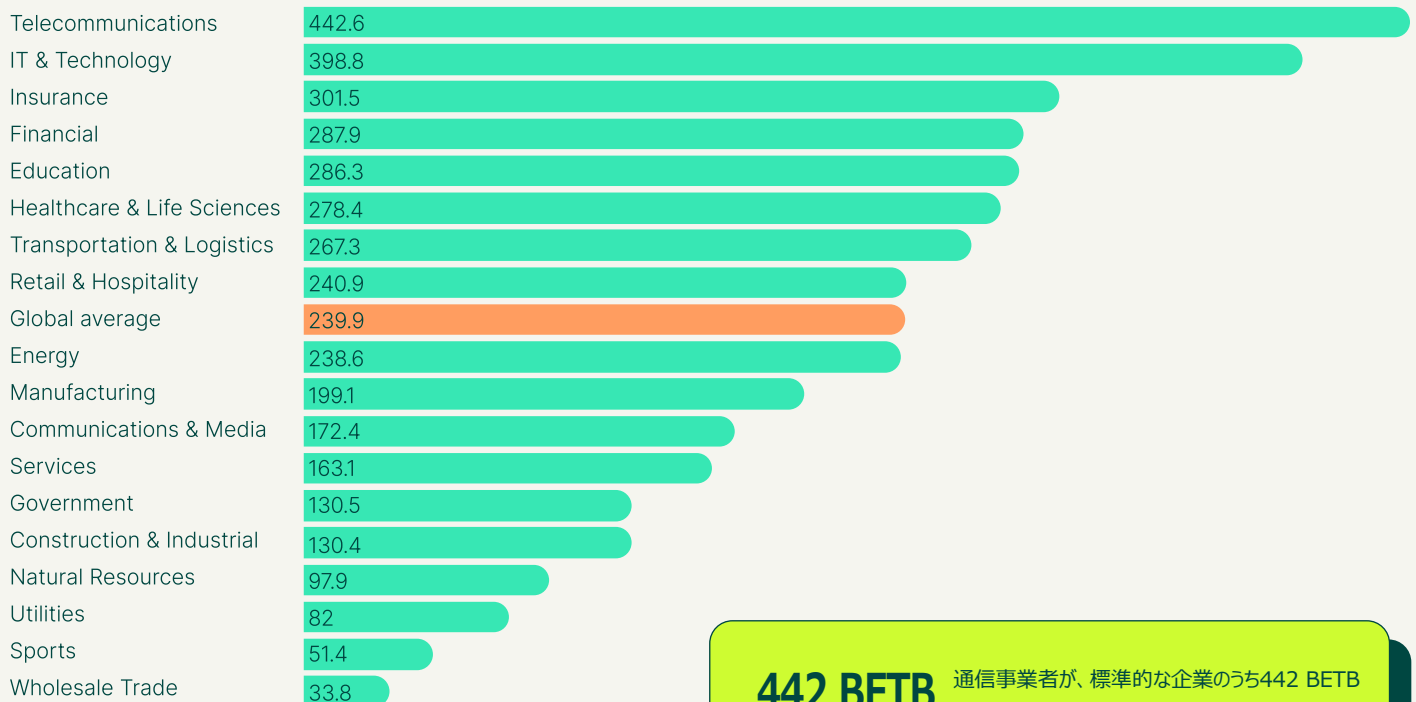
すべての決定を、直感、あるいは世間の人気や流行に基づいて行う人または物のこと。似た言葉として、雰囲気屋、データインフルエンサー、Pontiac Aztekの関係者(過去にゼネラルモーターズが販売していた車)、などがあります。例：Pontiac Aztekは100%、気分屋が手がけた車だ。<sup>1</sup>



さてそれでは、いよいよ分析に入りましょう。  
 これが、グローバル企業の標準的なデータ量です。



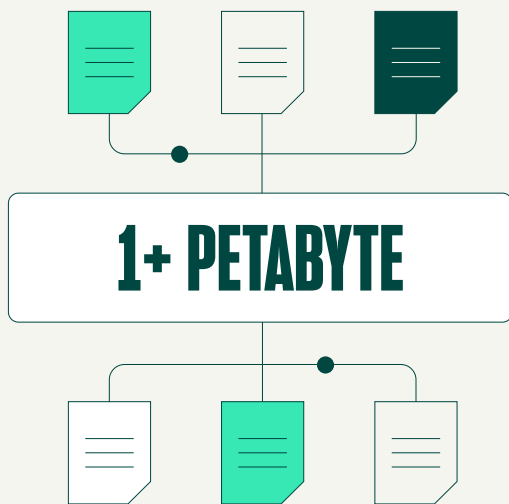
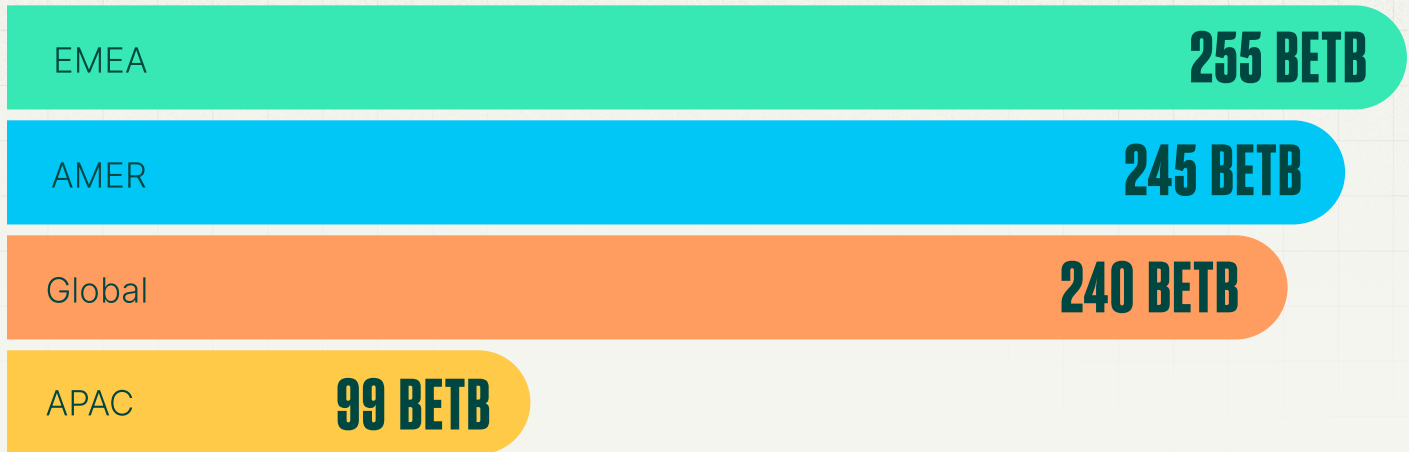
続いて、すべての業種と地域を比較しましょう。⑩



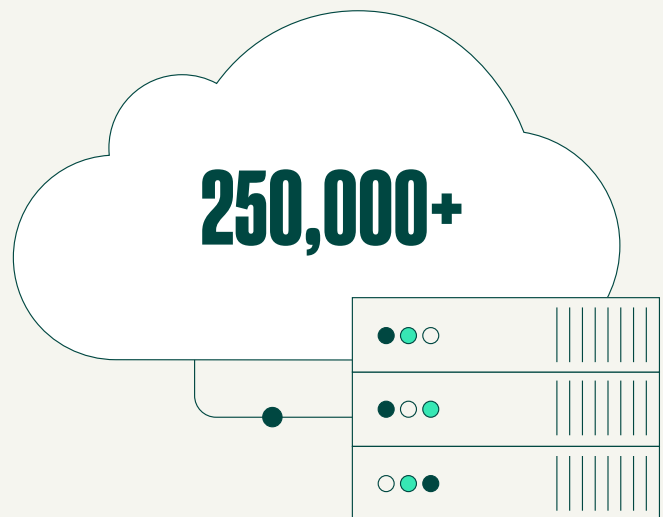
**442 BETB** 通信事業者が、標準的な企業のうち442 BETBとなり、業界トップです。

**34 BETB** 卸売業が34 BETBと比較対象の中で最も少なく、標準的な通信事業者のおよそ13分の1の容量です。

APACの標準的な企業は、EMEAや南北アメリカの類似企業と比較してデータ容量が約60%少ないです。



Rubrikが保護を提供する3社は、1ペタバイトを超えるバックエンドデータストレージを保有しています。



Rubrikが保護を提供する仮想マシンの数について、単一組織での過去最多は250,000を超えます。



# ちょっと寄り道

IT/セキュリティチームは、増大するデータは長い間考えられてきました。

## 2008

Wired Magazineが「ペタバイト時代」の始まりを宣言。<sup>2</sup>

## 2010

Googleの元VP、Marissa Mayer氏が、インターネットデータへの3つの大きな変更、すなわちリアルタイムデータ、空前的処理能力、新たな種類のデータについて言及。氏は、ユーザー生成データだけで15倍に成長しており、これはムーアの法則を上回ると主張。<sup>3</sup>

## 2011

データ業界のレポートで、今後、新たに誕生したCRM推進の波が組織に関するデータの増加につながり、右肩上がりの「モノのインターネット」デバイスの数がデータ水準を飛躍的に上昇させ、近い将来のデータベース改善がデータのユースケースを拡大させることを示唆。<sup>4</sup>

## 2013

データがアナログからデジタル化され、「センサー」データが増加することによるデータの「転換点」を中心とした議論が展開。<sup>5</sup>

## 2014

ソーシャルメディア、モバイル、ウェブの広告が「ビッグデータ爆発」を促進していくことについてアナリストが議論。<sup>6</sup>

## 2016

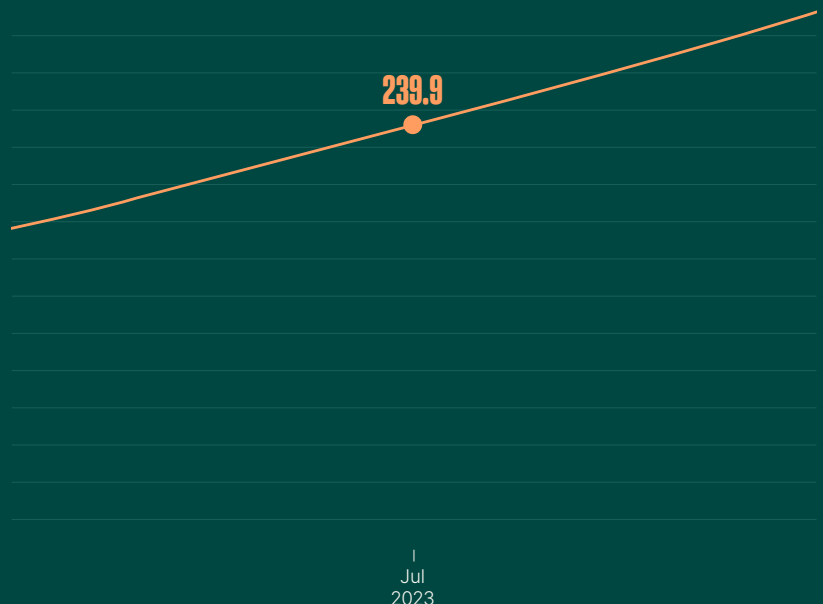
IBMが、低品質データがもたらす米国ビジネスへのコストを年間3.1兆ドルと試算。<sup>7</sup>

### ここまでの経緯

データについて、これまでその時々で懸念が生じてきました。しかし、分かったことはまだ何もありません。では、現時点までの経緯を確認していきましょう。<sup>⑩</sup>

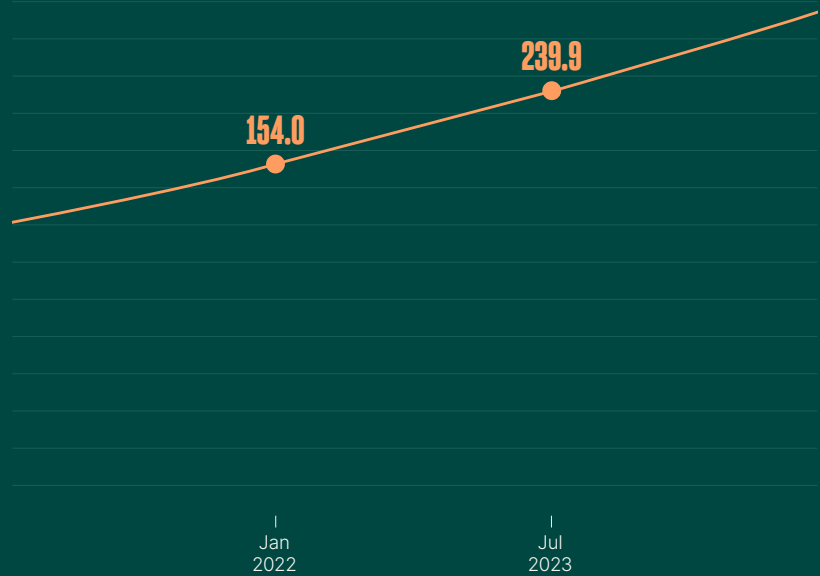
BETBの総合平均

● Global average



RubrikZero Labsは、  
2022年1月から  
2023年7月までの  
成長パターンを  
分析しました。<sup>(1)</sup>

BETBの総合平均



● Global average

標準的なグローバル企業のデータは、  
過去18か月で次の割合で成長しています。

**合計：42%**

**オンプレミス**  
**20%**

**クラウド**  
**73%**

**SAAS**  
**145%**

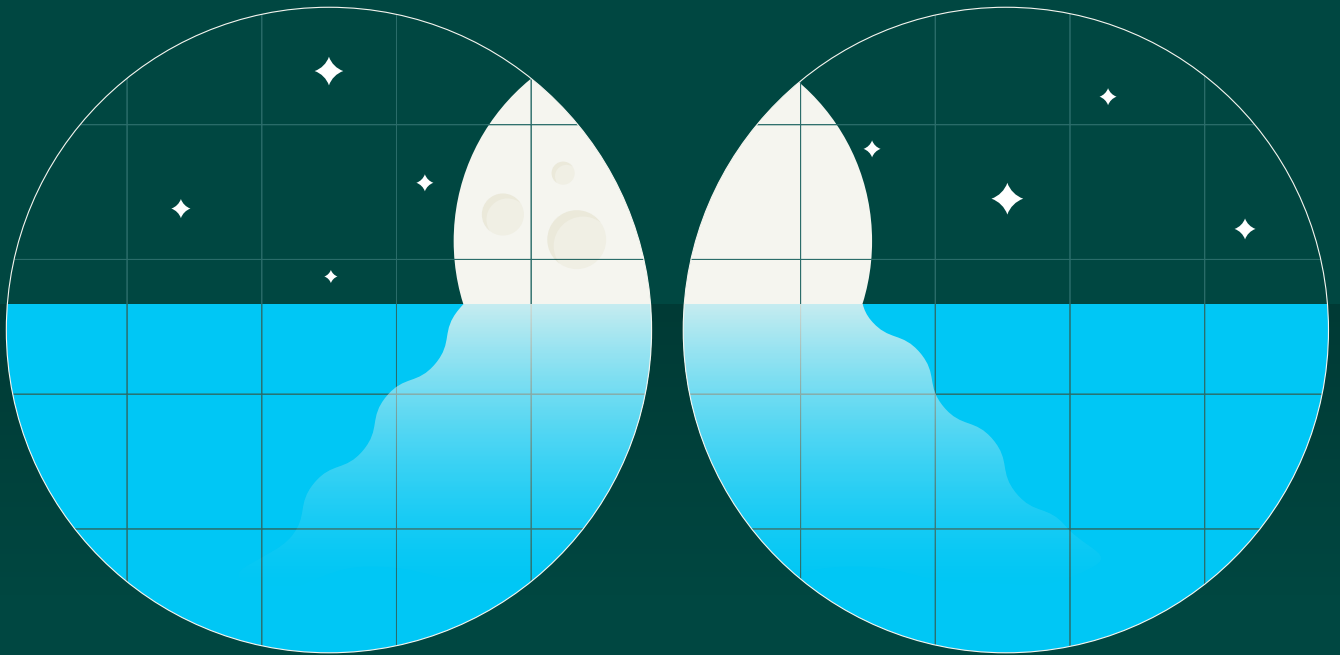
1 <https://www.caranddriver.com/features/a14989657/pontiac-aztek-the-story-of-a-vehicle-best-forgotten-feature/>  
 2 The End of Theory: The Data Deluge Makes the Scientific Method Obsolete  
 3 来たるべきデータ爆発 - ニューヨークタイムズ紙  
 4 <https://www.smartdatacollective.com/where-did-data-explosion-come/>  
 5 <https://news.microsoft.com/2013/02/11/the-big-bang-how-the-big-data-explosion-is-changing-the-world/>  
 6 <https://www.informit.com/articles/article.aspx?p=2238298&seqNum=3>  
 7 <https://hbr.org/2016/09/bad-data-costs-the-u-s-3-trillion-per-year>



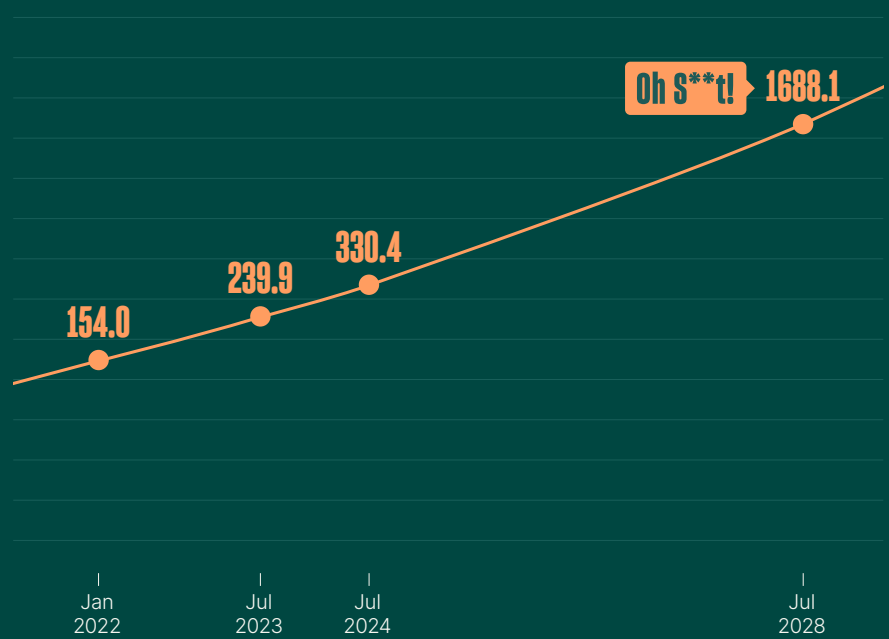
データ予測

# 地平を 見据える

次は、過去ではなく将来に目を向けましょう。Rubrik Zero Labsはデータの成長トレンドを応用し、今後、企業の視界にどのような景色が広がっていくのかを把握するための推定を行いました。



標準的な企業が保全すべきデータ総量は、来年には約100 BETBまで、今後5年では7倍にまで増加します。<sup>(1)</sup>



BETBの総合平均

● Global average

## 驚きの数値ですよ。分かります。私達も同感です。

大きな変化が一晩で起こることは滅多にありません。米国の銀行と住宅ローン会社が2007年半ばに破綻し始めた頃には、最初の住宅ローン担保証券の発行から35年以上が経過しており、金利調整型住宅ローンは1980年代から人気を獲得していました。<sup>1,2</sup>



今後5年でどれくらいのデータが存在することになるのか、実際のところは誰にも分かりません。これまでの、データ成長は予測を定期的に上回ってきました。広告では珍しいことではありませんが、この真実はRubrik Zero Labsにも当てはまります。2022年のみのデータに基づく弊社の以前の調査では、25%のデータ成長率が示されました。現在の成長率に基づいて他の領域を推定すると、現実味を帯びてきそうです。

1 <https://www.investopedia.com/terms/m/mbs.asp>

2 <https://predatorylending.duke.edu/business-analysis/evolution-of-mortgage-lending/subprime-lending/>



機密データの変容

# 荷造りは 旅に必要な 最低限のものだけに

今回の旅に持参する予定の荷物の量は分かりますが、  
こんなに重くする必要はあるのでしょうか？

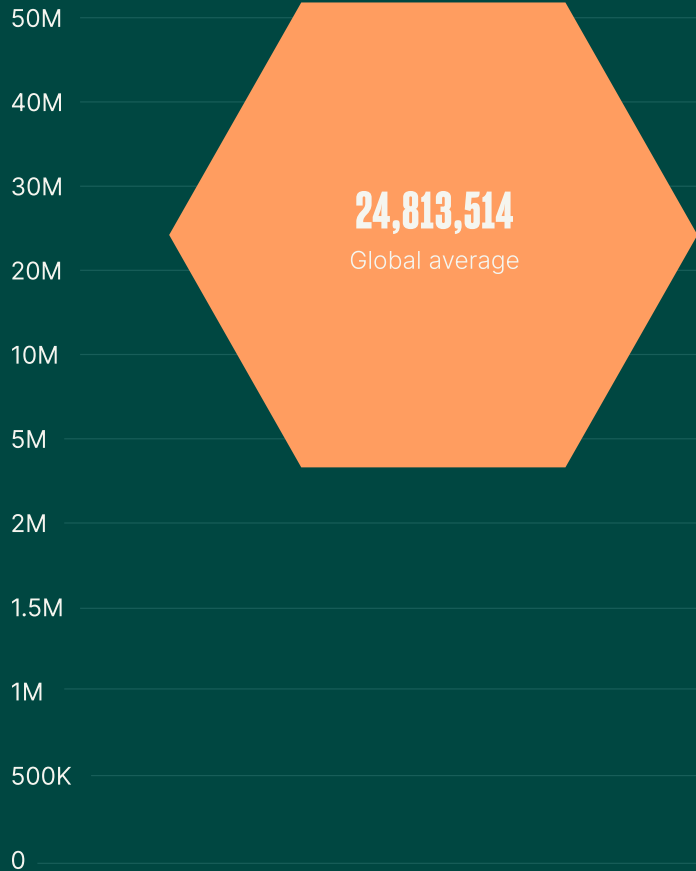


私たちは、ほぼすべてのデータを気にかけますが、中には他よりも重要なデータがあります。たとえば、過去のブログ記事が詰まったデスクトップフォルダに不正アクセスされても真剣に気にする人はいませんが、それがID番号、健康データ、事業計画などであれば、懸念の度合いはもう少し高くなります。

このレポートでは機密データの定義について、Rubrikテクノロジーソリューションが、PII、HIPAA、GDPR、CPAAなどの多様な業界標準や規制から導き出したパラメータを使用し、機密としてフラグ立てしたデータ要素としています。<sup>1234</sup> 加えて所定の組織が、それぞれが選択する任意の要素（ソースコード、訴訟ホールドなど）に基づき、Rubrikテクノロジーを用いてデータを機密としてタグ付けする場合もあり、そのデータもこれらの数値に含まれます。©

これが標準的な企業のグローバル平均です。

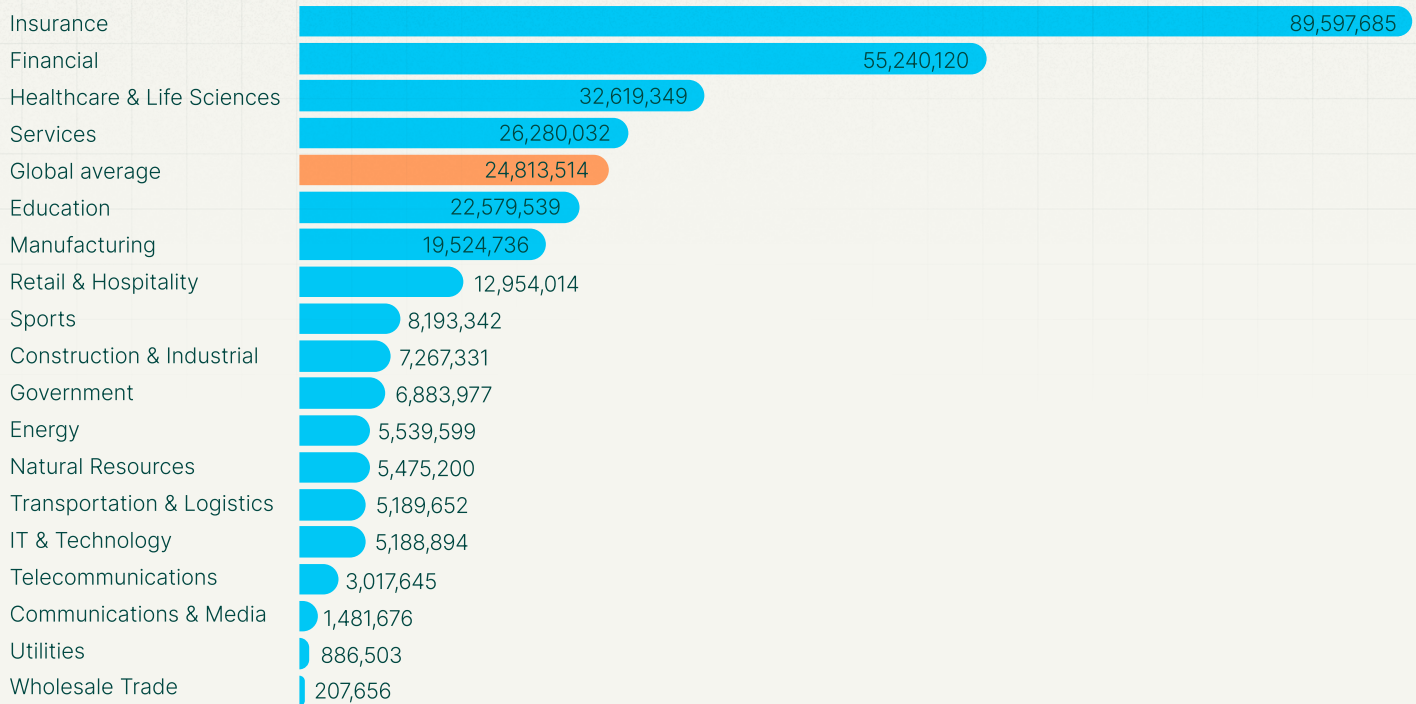
2023年7月の機密データファイル数の平均





一步引いて見てみると、相当な差異があります。全業種では次のとおりです。©

2023年7月の機密データファイル数の平均



13億超

Rubrikが保護を提供する単一企業で最も機密性の高いデータは13億超の機密データレコードです。

4%未満

4%未満の外部組織しか機密データ専用の保管場所を備えていません。©

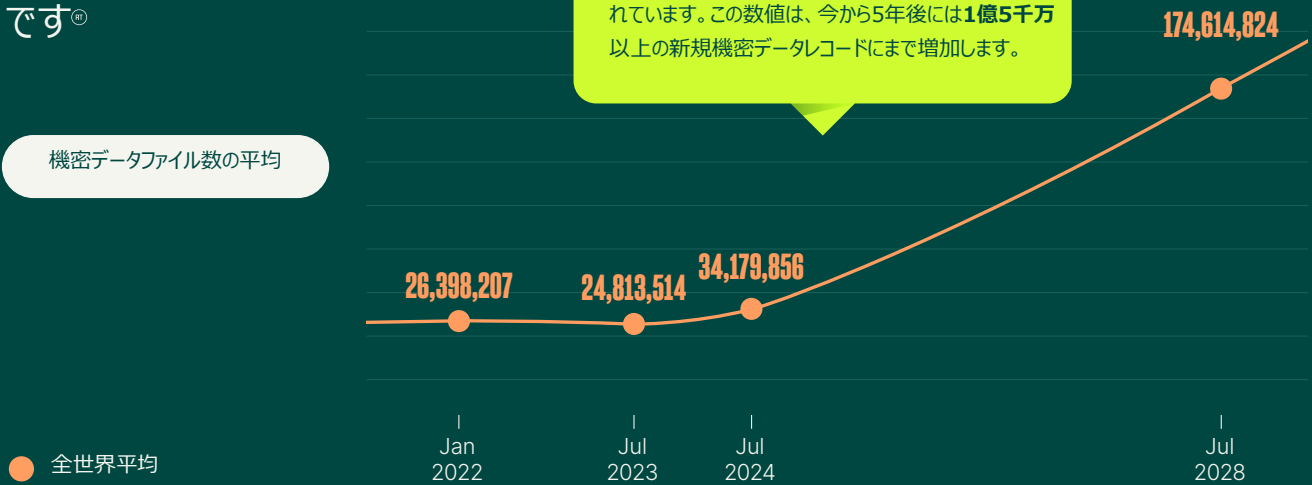
61%

61%の外部組織が、クラウド、オンプレミス、SaaSの各環境にまたがる複数箇所に機密データを保管しています。©

今後、管理が必要となる機密データの成長予測に、今こそ目を向ける時です<sup>④</sup>

機密データファイル数の平均

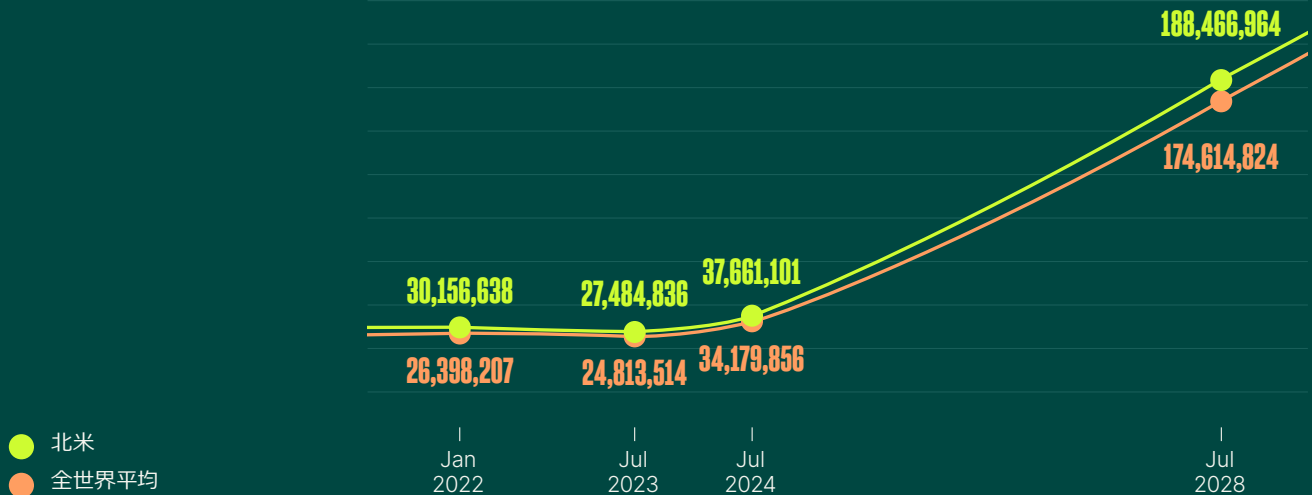
標準的な組織では、保全すべき機密データレコードが1年間で**1,000万以上**、新たに加わるものと見込まれています。この数値は、今から5年後には**1億5千万**以上の新規機密データレコードにまで増加します。



地域別内訳

## 北米

機密データファイル数の平均

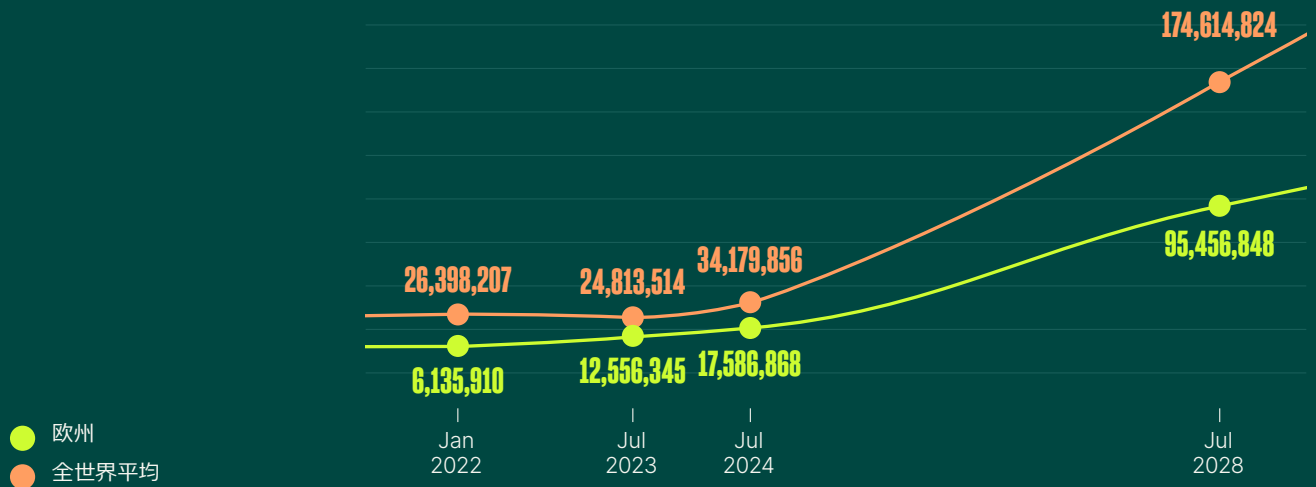




地域別内訳

## 欧州

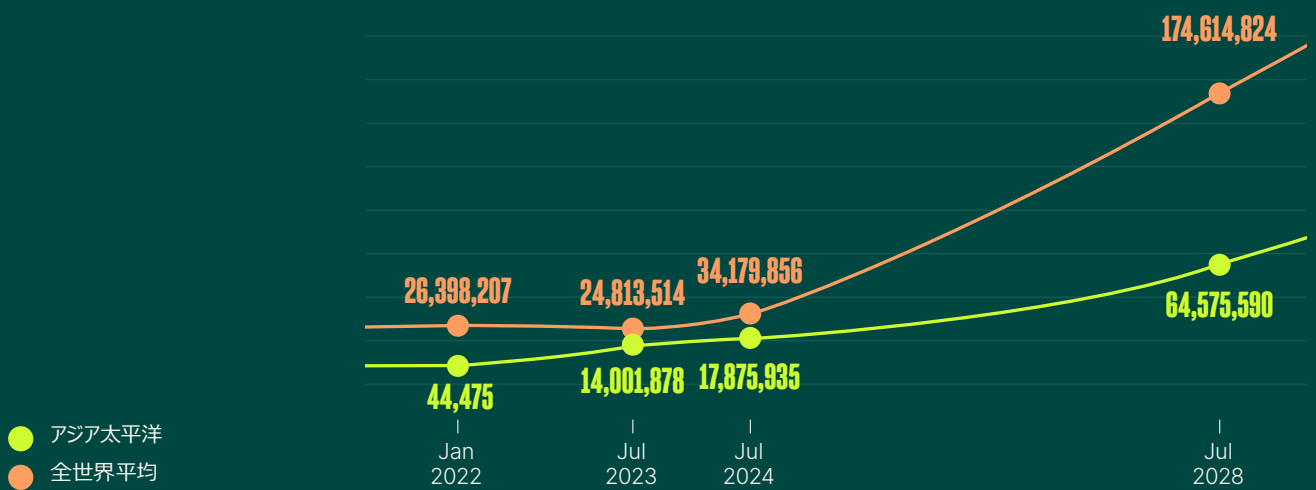
機密データファイル数の平均



地域別内訳

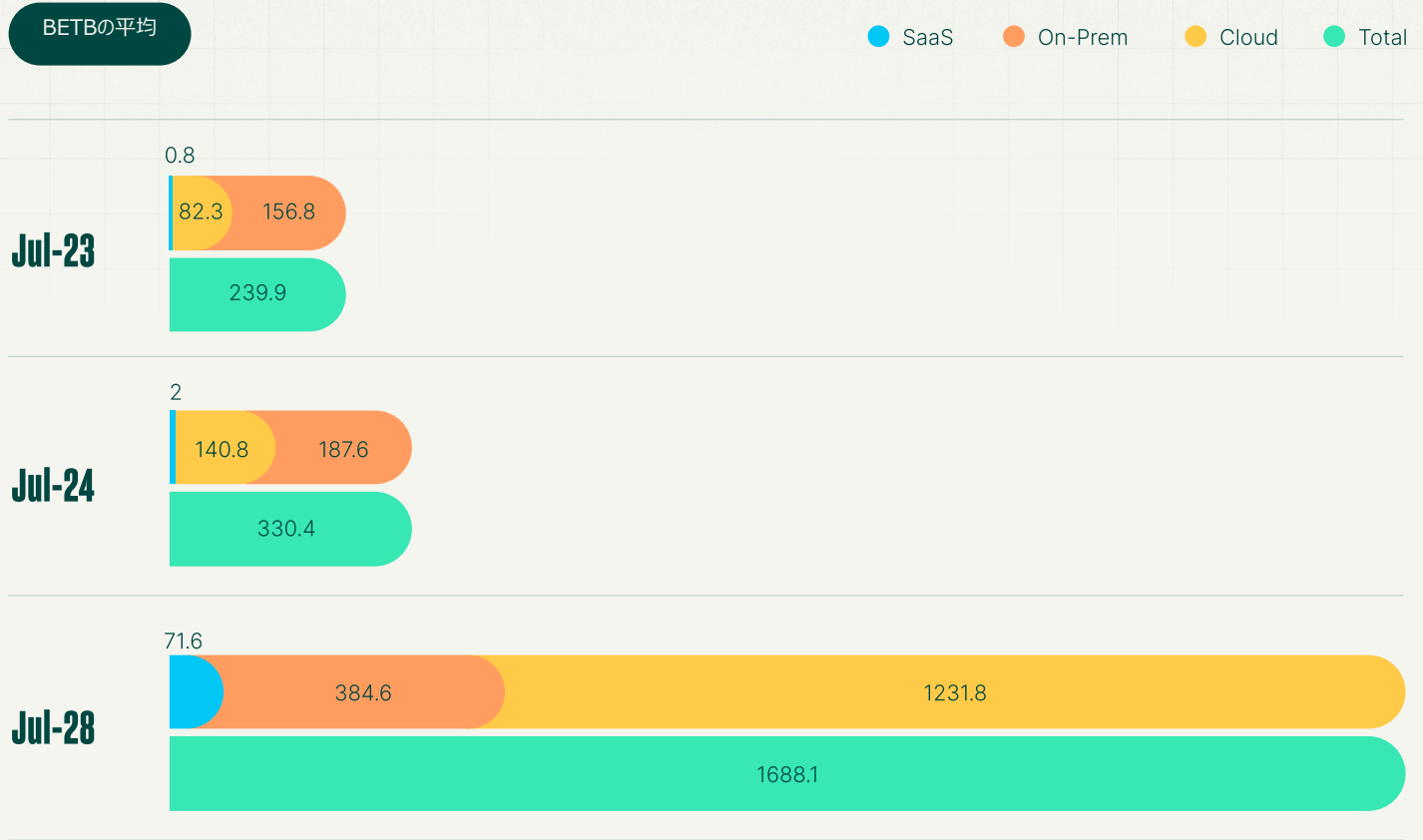
## アジア太平洋

機密データファイル数の平均



# 移行が進むハイブリッド環境

重要なのはデータ容量だけではありません。そのデータがどこにあるのかも重要です。<sup>④</sup>



今後5年間の重要なトレンドは、ハイブリッド環境（オンプレミス、クラウド、SaaSの混合）の動的性質です。あらゆる示唆が、ハイブリッド環境が引き続き優勢であることを示しているものの、割合は劇的に変動していきます。今後はクラウドが優先的なストレージ媒体として、オンプレミスをやすやすと上回っていくでしょう。また、SaaSが今後5年で最も高い成長率を見せ、現在、組織がクラウドで行っていることをSaaSでも行えるようになります。

1 <https://gdpr-info.eu/art-4-gdpr/>  
 2 <https://www.cdc.gov/php/publications/topic/hipaa.html>  
 3 <https://www.dol.gov/general/ppii>  
 4 <https://oag.ca.gov/privacy/ccpa#:~:text=The%20right%20to%20limit%20the,personal%20information%20collected%20about%20them.>



データセキュリティの評価

# そこにも、ここにも、 モンスターが

ここまでで、保全すべきデータが多数あり、その保管場所が変わりつつあることがわかりました。では、データの保全に関し、現在の取り組み状況はどうなっているのでしょうか。データ主導の真実を把握するため、データセキュリティスコアを使用しましょう。



「そこにも、ここにも、モンスターが」は、未知の海域や危険と思われる場所を示す地図に書かれていた言葉です。



## データセキュリティスコアについて

データセキュリティスコアは、以下のカテゴリに基づいて24時間ごとに計算されます。

1. **プラットフォームセキュリティ**：データが格納されているインフラストラクチャのセキュリティの効果を測定します。これには、ユーザーの管理、管理上の認証、監査ログなどがあります。
2. **データの保護と復旧**：バックアップデータがどれくらい適切に保護されているか、最新のバックアップのクリーンコピーが使用可能かどうか、その他関連する要因を分析します。
3. **ランサムウェア調査**：ランサムウェア脅威の監視のクオリティと頻度や、暗号化イベントの後にデータを復元できるかどうかを確認します。
4. **機密データの検知**：機密データがどの程度保護されているかの測定、データのアクセス制御の評価、機密データが復元に対して優先されているかの判断を行います。
5. **スコアは以下のように評価されます。**
  - 0～50：不十分
  - 51～75：改善が必要
  - 76～90：十分
  - 91以上：優良

標準的なグローバル企業のデータセキュリティスコアは67です。<sup>®</sup>

AMER

68.1

Global

67.3

EMEA

66.9

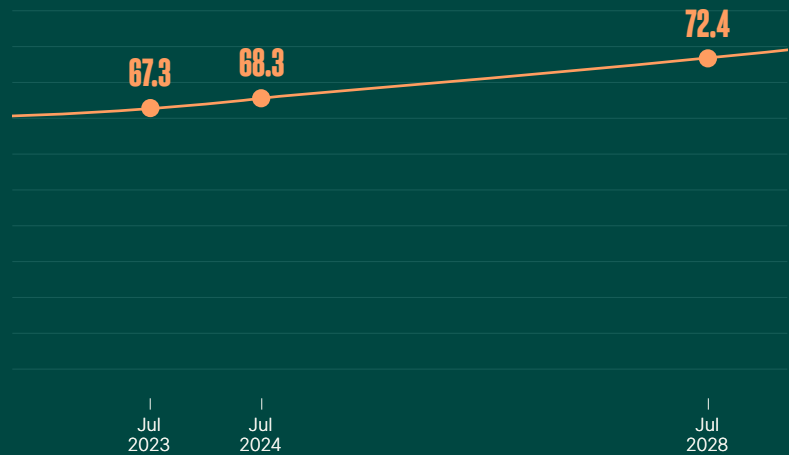
APAC

56.2



これが、トレンドとベクトルの  
分析に基づく未来像です。<sup>®</sup>

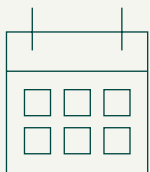
データセキュリティスコアの平均



● 全世界平均

# 8%

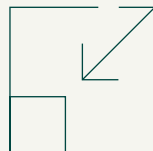
データセキュリティスコアの上昇見込みは、  
来年は1%のみ、今後5年間でも8%です。<sup>®</sup>



データセキュリティスコアは、今後5年で持てる者  
と持たざる者との差別化が急速に進みます。<sup>®</sup>

# 16%

これらの予測は、2022年の全体的な  
上昇率の16%からの大幅な移行を  
示しています。<sup>®</sup>



2つの業種が90%台まで伸びる（公益事業と  
輸送/物流）一方、3つの別業界（教育、  
エネルギー、サービス）で同じ期間に平均が  
下落します。<sup>®</sup>

# 18のうち10

18業種のうちの10業種および1つの地域だけが、  
5年後に十分または優良に達します。<sup>®</sup>

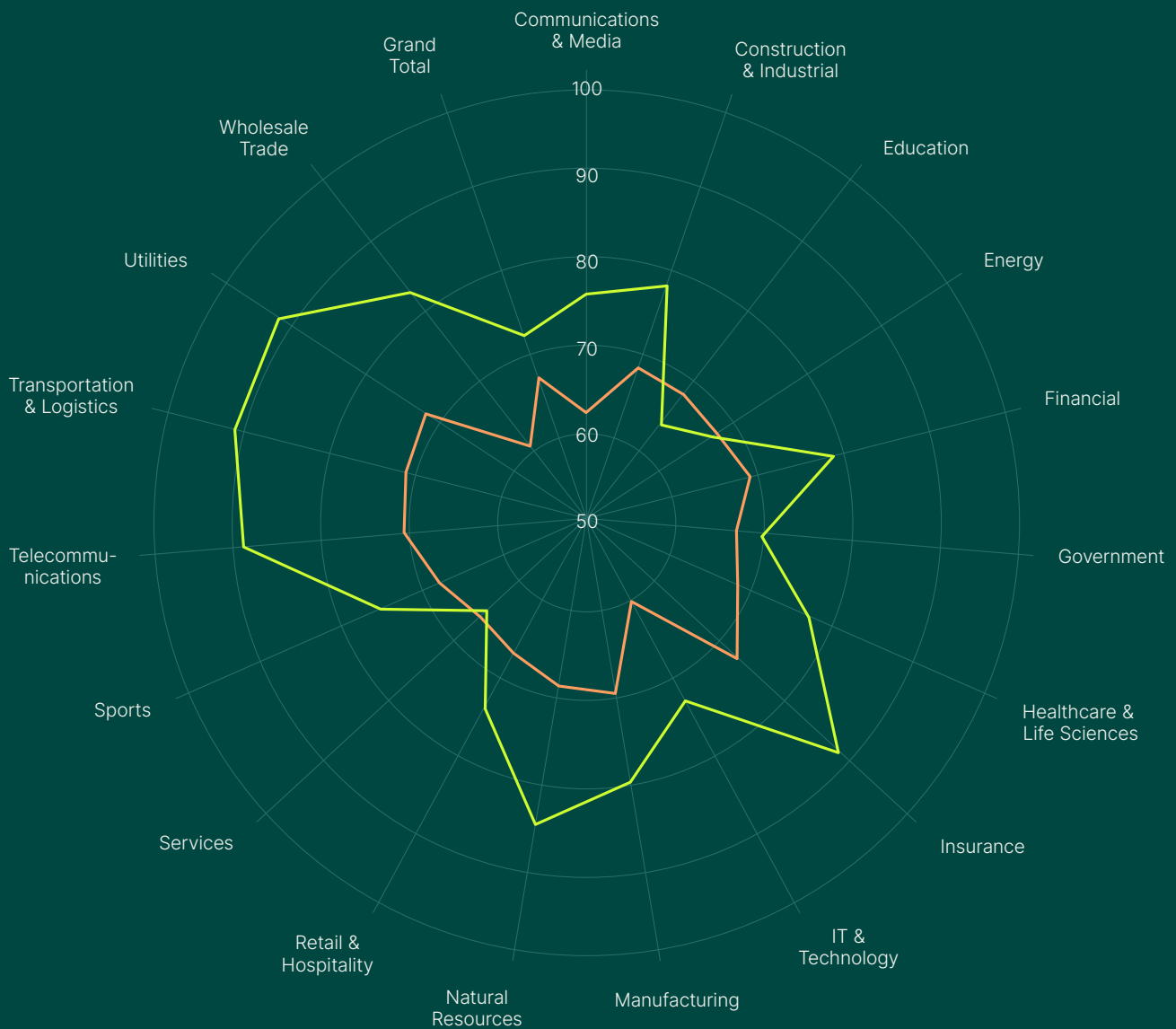


北米と欧州は、引き続き互いに近接し、  
全世界平均とも同様に近いまですが、アジア  
太平洋はほとんどの主要カテゴリで明白な変動が  
見られる予想となっています。<sup>®</sup>

弊社ではデータセキュリティのいくつかの時系列トレンドを精査しました。  
これは、多少異なる視点での比較結果です。®

データセキュリティスコアの平均

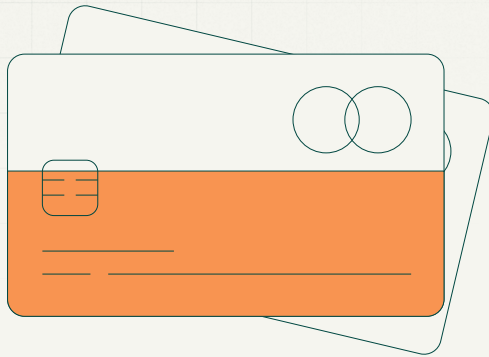
● 2023年7月 ● 2028年7月





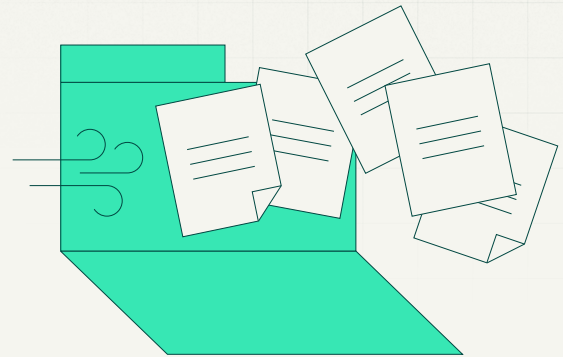
# データ消失の現実

ここまで、直感と分析によりデータの全体像を見てきました。では、同じデータへの脅威についてはどうでしょうか。再び直感に戻り、同じ立場の人たちの声を聞いてみましょう。



**53%**

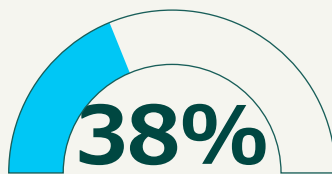
昨年、53%の外部組織で機密情報の重大な消失が発生<sup>◎</sup>



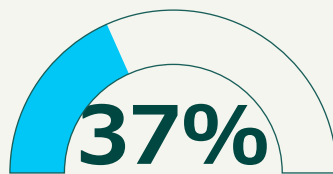
**16%**

外部組織のおおよそ6社に1社（16%）で、2022年に機密データの複数回の重大な消失が発生<sup>◎</sup>

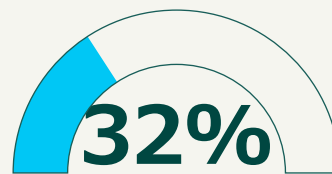
## 昨年、外部組織で侵害されたデータの種類<sup>◎</sup>



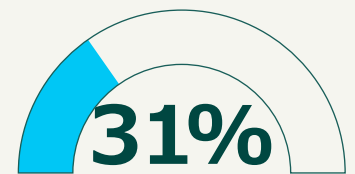
個人の特定可能な情報



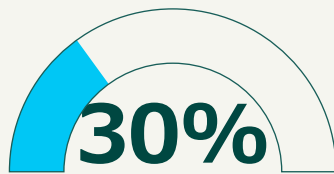
企業の財務データ



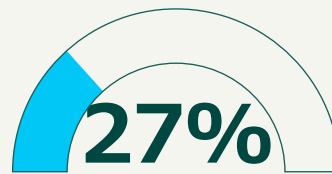
認証用視覚情報/キー



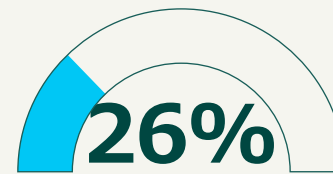
知的財産



支払用カードのデータ



アカウント番号



保護された健康情報

提案

# 通った人が まだあまりいない道

人は未来予測が得意ではないかもしれませんが、今や私たちは、  
新たな道筋を描くうえでの道しるべを手に入れています。

データセキュリティ改善のための基礎的な実証済み手段を、いくつか  
詳しく確認していきましょう。いずれも基本的な内容に思われるかもしれ  
ません。それは、実際にそのとおりです。また、きちんと機能するものでも  
あります。**論より証拠、ご覧ください。**



98%

外部組織の大多数（98%）が、現在、データの可視性に  
大きな変革が起きていると考えています。◎



54%

の外部組織が、データとデータセキュリティを担当する個別の  
上級幹部を指定しています。◎



この未来は絶対不変のものではありません。今日の選択が明日に影響するのです。いくつかの例を見てみましょう。

## Rubrik Zero Labsの 上位3つの提案

# 1.

提案

**データの可視性を活用して、機密データのプロアクティブなレビューを定期的に行う。**

もし、ある組織で昨年のデータ総量を20%削減していたとすると、複数のリスク減少評価基準はすぐに改善します。データ削減の具体例としては、昨年1年間に誰もアクセスしなかった機密データの削除、重複データコピーの発見と削除、昨年限りでなくなった社員/顧客/パートナーのユーザー共有内のデータ削除などです。これは、単一企業内の別々のデータ保管庫にまたがる重複データにも当てはまります。

# 2.

提案

**データの増大に意図的に調整する。**

総容量、環境の選択、環境の合計数、そのいずれもが手段となり得ます。具体例としては、クラウド成長を環境全体の50%を超えないよう設定する、設定方針に基づきデータを削除する、組織全体の環境内でストレージの場所を4か所未満に制限する、機密データは1つのエンクレーブのみに置く、などです。

# 3.

提案

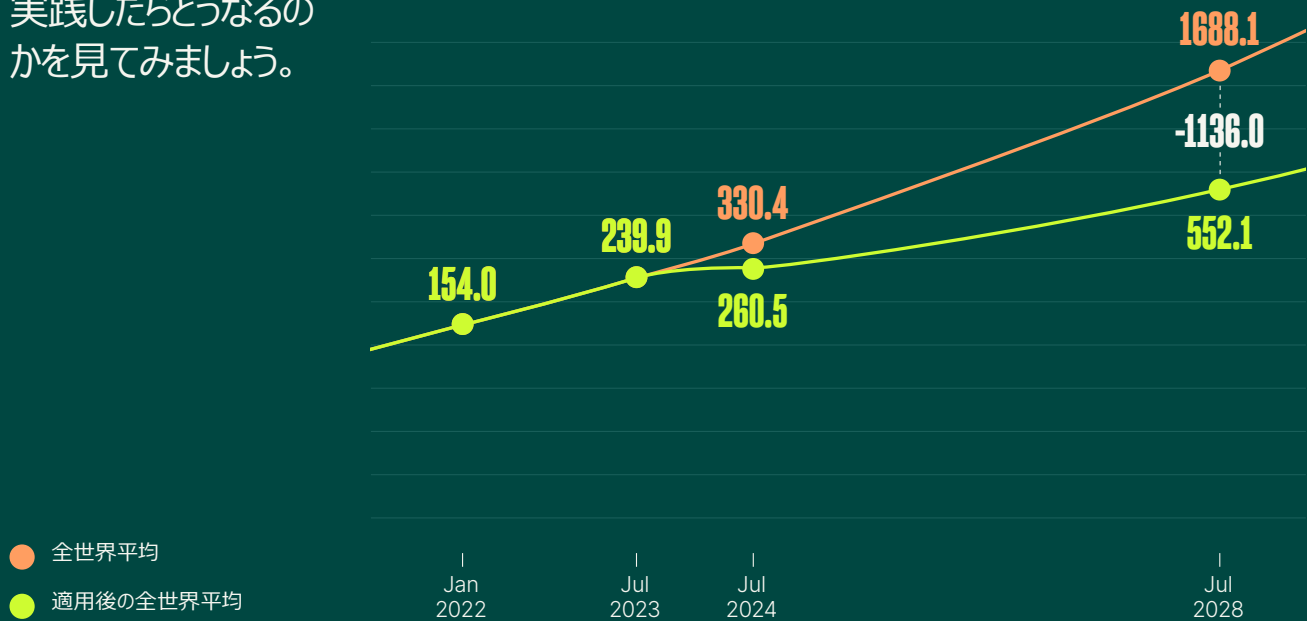
**データセキュリティを経営幹部の具体的な検討項目とする。**

責任を有する所有者の特定、遵守すべき方針、組織としてのベストプラクティスの実践や実施は、いずれも真に肯定的な影響と共通の責任感を生み出します。

# 適用済みの提案

## BETBの総合平均<sup>®</sup>

こうした変更を今すぐ実践したらどうなるのかを見てみましょう。



これらの提案を実行した結果  
今後5年間で起きる変化は<sup>®</sup>

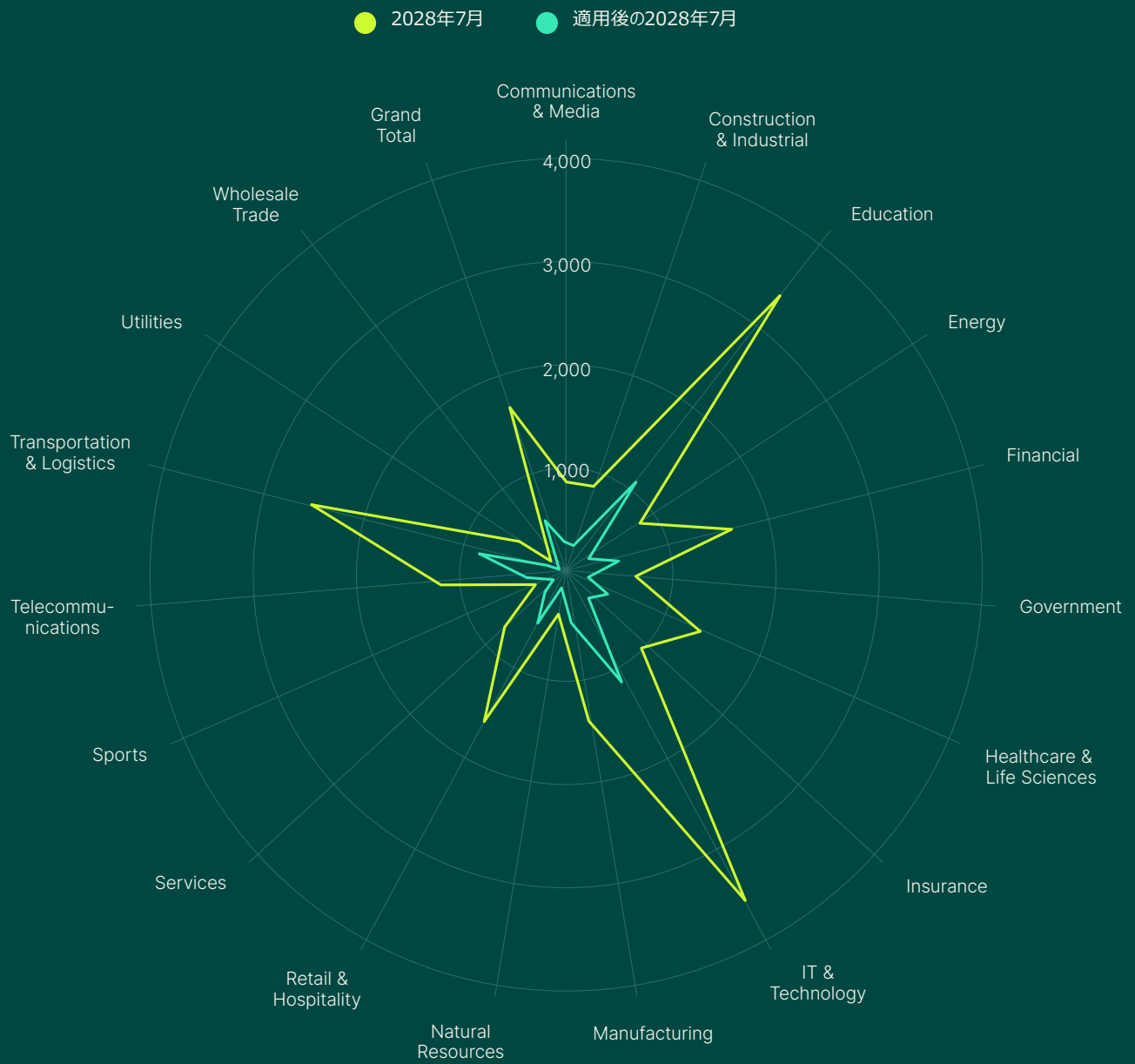
# 1,100を超える BETBの減少

(標準的な組織に必要なデータストレージ)



## BETBの総合平均<sup>®</sup>

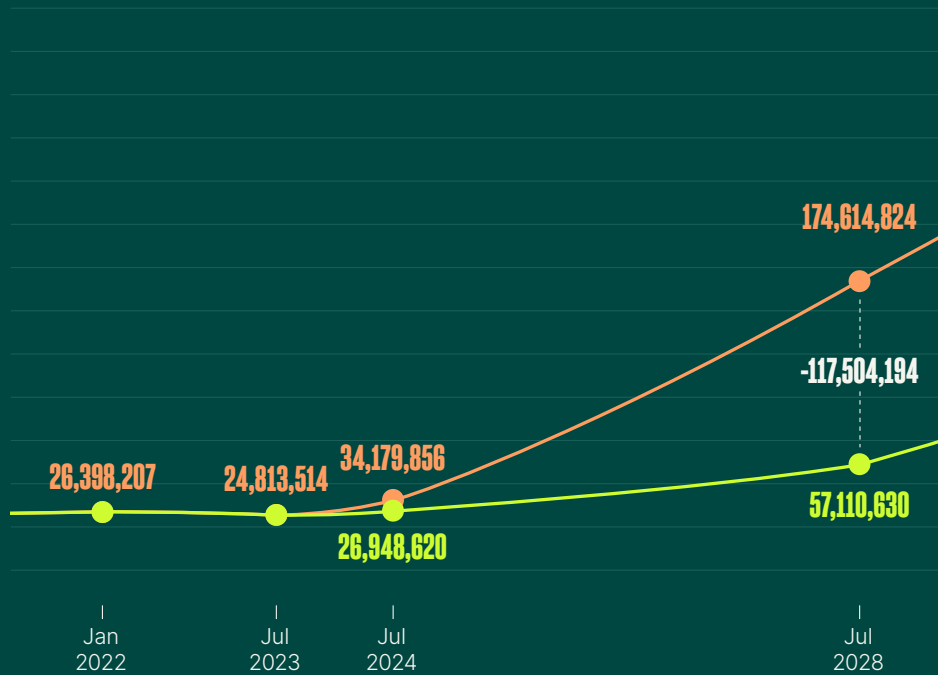
これらの提案に基づく明白な移行はすでに目に見えるものとなっています。  
では、より本格的に、総合的な視点から同時にすべてを比較してみましょう。



# 適用済みの提案

## 機密データファイルの平均<sup>®</sup>

● 全世界平均 ● 適用後の全世界平均



これらの提案を実行した結果  
今後5年間で起きる変化は<sup>®</sup>

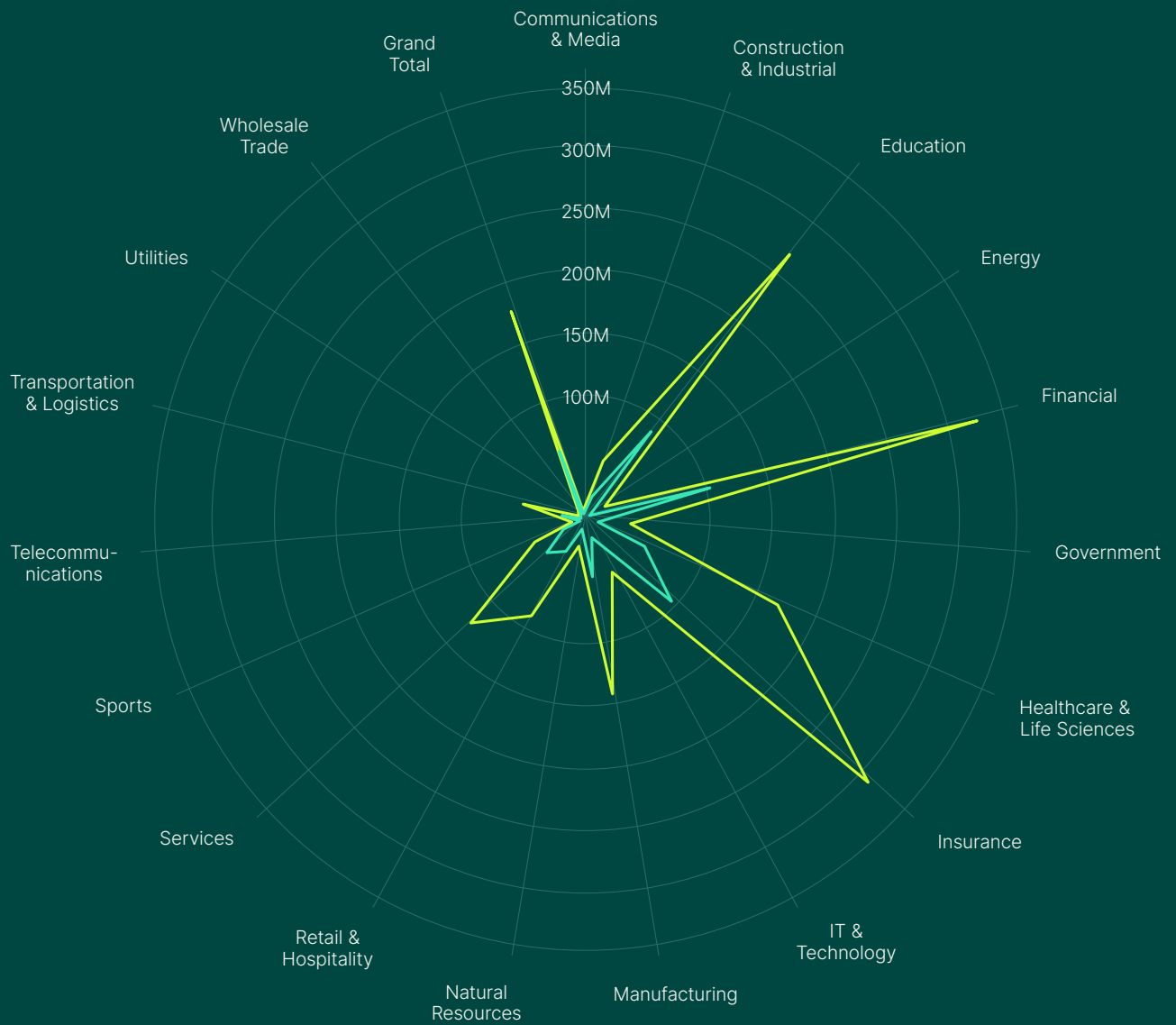
# 1億1,700万を 超える数の減少

(標準的な環境の機密データレコード)



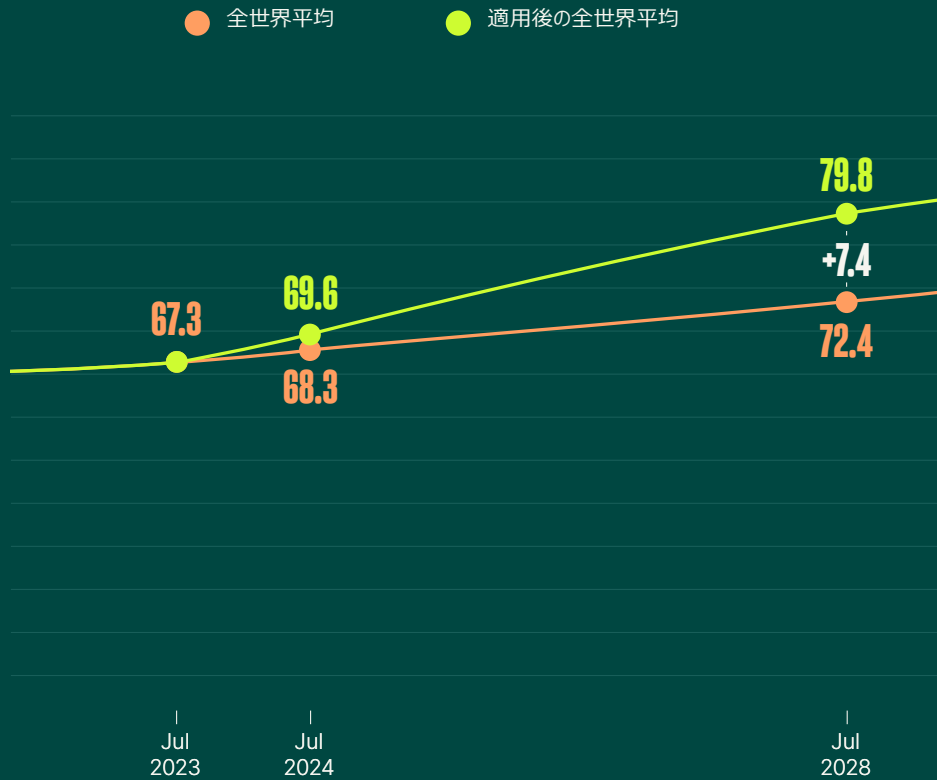
# 機密データファイルの平均<sup>®</sup>

● 2028年7月    ● 適用後の2028年7月



# 適用済みの提案

## データセキュリティスコアの平均<sup>®</sup>



これらの提案を実行した結果  
今後5年間で起きる変化は<sup>®</sup>

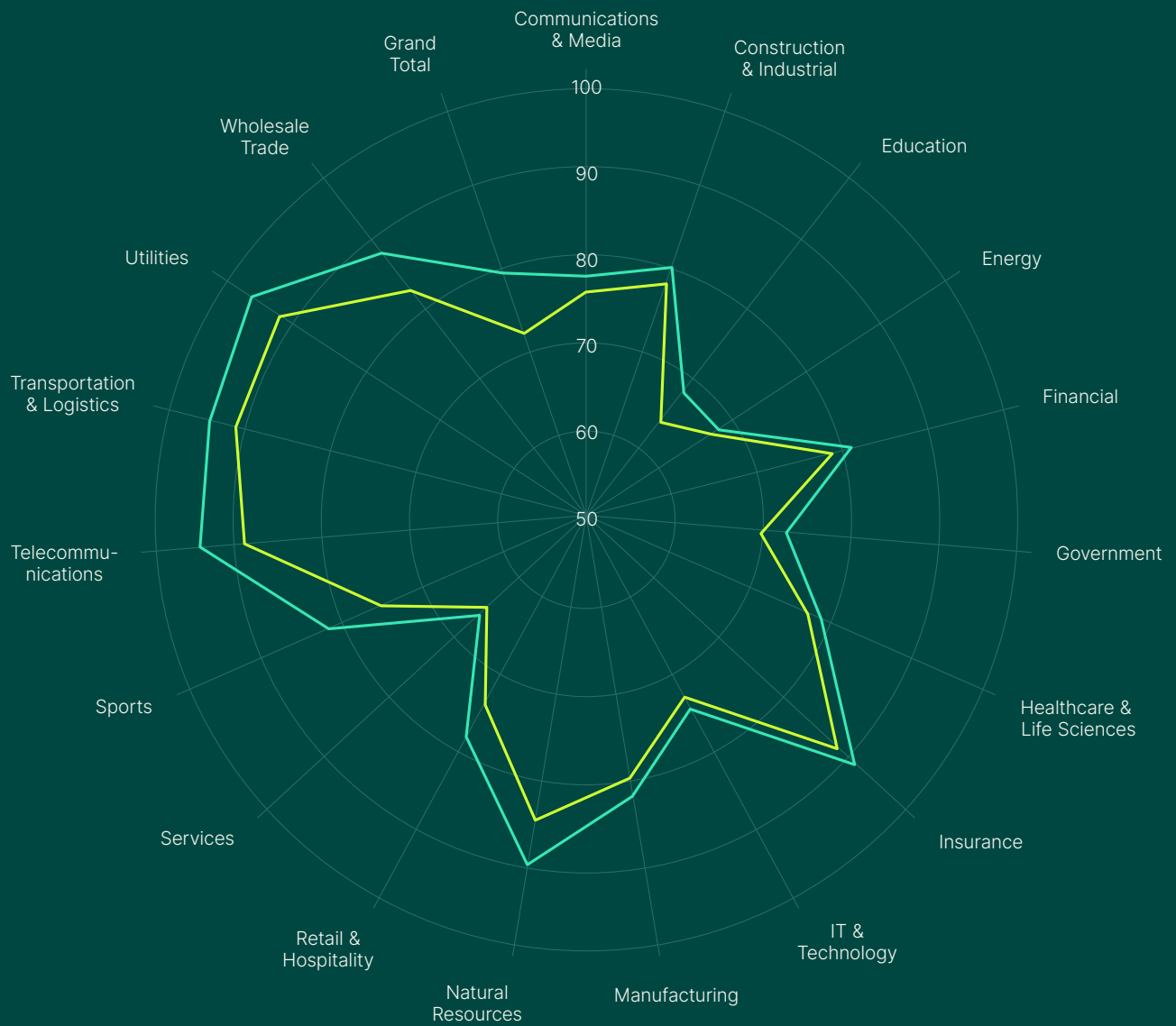
# 10%改善

(データセキュリティスコア。予測される増加の倍以上。)



# データセキュリティスコアの平均<sup>®</sup>

● 2028年7月    ● 適用後の2028年7月



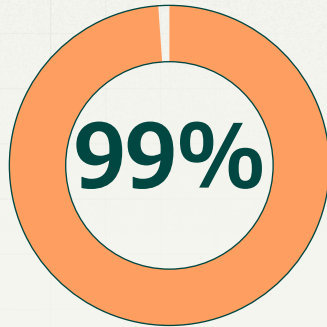
SUMMARY

# JOURNEY'S END (FOR NOW)

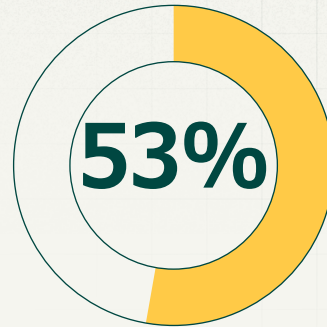
今回の始まりは、人というのは本質的に楽観主義です、  
との言葉でした。共に歩を進める旅路を終え、私たちとしては、  
皆さんがデータへの実用的な理解を深められたことについて、  
そして皆さんが楽観的であったかどうかについて、  
楽観的に捉えています。



# しかし、楽観主義はそれほど悪いものなのでしょうか。 答えは「はい」でも「いいえ」でもあります。



昨年、攻撃を受けた組織の数



昨年中に機密情報の重大な消失があった組織の数

99%の組織が昨年に攻撃を受け、半数以上が過去12か月間での機密情報の重大な消失を認めているのであれば、この数値は明らかにマイナスの意味を持ちます。良識あるIT専門家やセキュリティ専門家なら、一定程度の楽観主義なしにこの闘いに足を踏み入れることはないでしょう。私たちが楽観主義で余力を残すのは良いことです。この先の困難に挑むためには、全力で取り掛かる必要があるからです。

しかし、これまで見てきたように、過度な楽観主義はひどい結果を招きかねません。

このレポートから何かを得ていただくのなら、それは次のような内容であってほしいと願います。



**常に  
楽観主義でいる。**



**分析を行う。**



**兆候に注意する。**



**情報に基づく  
意思決定を行う。**

## 謝意

Rubrikでは、今回の成果を世に送り出すためにご尽力いただいた関係各所への心からの感謝を表明し、この旅程を終えたく思います。Wakefield Researchには、この研究を可能な限り客観的なものとするためのデータを提供していただきました。Shaped By (www.shaped-by.com) には今回もまた、アイデアを具現化するためのすばらしい方法を見つけていただきました。最後に、多くのRubrik関係者が多大な労力により、能力、コンテキスト、ガイダンスを提供してくれました。全員にお礼を伝えることはできませんが、それでもさらに、Amanda "Danger" O'Callaghan、Linda Nguyen、Lynda Hall、Ajay Kumar Gaddam、Ryann Goss、Derek Morefield、Josh Burns、Gunakar Goswami、Prasath Mani、Ethan Hagen、Kevin Nguyen、Caleb Tolin、Kelly Cooper、Olivia Howardの各氏に対し、感謝申し上げます。



**Rubrik Zero Labs**